
頼むからパパのいうことを聞いてくれ！

村雨

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

頼むからパパのいうことを聞いてくれ！

【著者名】

村雨

2007-2

【あらすじ】

ありえない死に方をしてしまった俺。
死に方が面白いという理由で転生！？
もらった能力は二つ。でもその二つの一ひとつはこれから行く世界では
まったく使えない！？
まあがんばって生きていこう

更新は不定期です

プロローグ的なもの（前書き）

初投稿です。

すこく短いです。まあいろいろむかしいところがあると思いますが
大目にみてください。

感想待っています。でもあまりひどいことは書かないでください。
誤字脱字あつたら指摘してください。

プロローグ的なもの

…「アリサエビ」なんだ？

俺が意識を取り戻すと田の前に幼女がいた。

…なぜに幼女？

「あ、やっと氣がつきましたか」

いや、なんぞいとこに幼女が居たの？

「ああ、やついえば自己紹介がまだでした。私は神さまです。そしてあなたにはラノベの世界へ転生してもらいます」

は？転生？何で俺が？つていつか俺死んだの？

「はい、死んできます。あなたが選ばれた理由が
それです。思い出してみてください」

えっと、俺は一人で暮らしていたはずだ。
んで、会社の同僚と飲みに行く約束をした。
そして出かけようとして筆箋の角に左足の小指をぶつけたんだ。
…ん、じつからの記憶がない！？まさか俺は
筆箋に足をぶつけて死んだのか！？

「いえ、違います。実際はそのショックにより氣絶。
そして運悪く卓袱台に頭をぶつけて死亡しました。」

よかつたよかつた…つてびつひもびつひじゅねーか！

ん、まてよ、まさか俺が選ばれた理由これ？

「はい、そうです。あなたの死に方が面白かったからです」

おい！適当すぎだろそれ！

「まあいいじゃないですか。どうせ家族も居ないんだし

…まあそりゃだが。仕方がない、どこの世界に行くか教えてくれ

「それは内緒です」

…は？内緒？

「でもその代わりに好きな能力を一つあげましょう」

じゃあ一方通行のベクトル操作能力と黄金率をくれ

「分かりました。それではがんばってください」

最後にひとつだけいいか？

「何でしょう？」

結局俺はどこの世界に行くんだ？

「…まあいいです。教えてあげます。

それは『パパの言うこと』を聞きなさい』です

お、いそこベクトル操作意味ねえだろ！

「家事全般は一流以上にできるようになります。

それでは今度こそいってもらおうじゃない

「まあぐだぐだ言つてもしょうがない。行つてきまーす

俺は目の前に現れた扉からでていった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7200y/>

頼むからパパのいうことを聞いてくれ！

2011年11月21日16時30分発行